

令和六年度（二〇二四） 文芸資料研究所彙報

〔令和六年（二〇二四）〕

四月一日（月）二日（火）本学入学式。

四月二日（火）佐藤悟所長・上野英子専任研究員・山内博之兼務研究員・舟見一哉兼務研究員で、研究所の方針について打ち合わせた。

・装束の撮影立ち会いのため、大井三代子客員研究員の招聘理由書を提出した。

・年間開室予定表と臨時職員出勤表を作成した。

四月三日（水）臨時職員貸与白衣をクリーニングに出した。

四月四日（木）装束班（高倉永佳・大井各客員研究員・永井とも子非常勤講師）が高倉家資料の調査を行った。

・寄贈用「年報」の郵送準備をした。

・高精度デジタル顕微鏡VHX8000の不具合がキーンズ社エンジニアのチェックにより解消したため、

一時借用していた部品（偏光部分）を同社に返却した。

四月八日（月）～一六日（火）日曜を除く八日間にわたって、インフォマーヂュ社にて高倉家文書のデジタル撮影を行い、大井客員研究員が立ち会った。

四月九日（火）マイクロフィルム年間保管料をカルチャー・ジャパン社に支払った。

・運営会議の開催日時を決めるため、「調整さん」にて兼務研究員にアンケートを採った。

四月一〇日（水）卒業生より樋口一葉資料の寄贈について

照会があり、本学図書館を紹介した。

四月十一日（木）兼務研究員へのアンケートの結果、第一回運営会議はハイブリッド形式で行うことに決定、佐藤所長が会議資料を校閲した。

・臨時職員を希望する学生（一名）が来所、上野研究員

が対応した。

四月十五日(月)『源氏物語切集』(手鑑一帖)の購入について起案を作成し、研究推進室に提出した。

・新宮市佐藤春夫記念館への出張伺書二件(大原祐治兼務研究員・佐藤所長)、招聘理由書一件(河野龍也客員研究員)を作成し、提出した。

・臨時職員を希望する学生(三名)が来所、上野研究員が対応した。

四月一六日(火)大井客員研究員の招聘報告書を作成し提出した。

・新規に臨時職員を希望する四名の学生について、採用申請書を作成した。また臨時職員の継統を希望する学生たちの前期シフト表を作成し、各人に打診した。

・「年報」43号データを大学図書館に持参し、リポジトリ化を依頼した。

・思文閣出版より源氏物語少女巻古筆切未装丁二葉(「ふみも」「御され心」)を購入した。

四月一七日(水)第一回運営会議で使用する「委任状」のフォーマットについて、所長が校閲した。

・佐藤春夫展および講演会のため、開催願と施設借用願を提出した。

四月一八日(木)兼務研究員に第一回運営会議開催通知(会議資料・委任状フォーマット)を配信した。

・香雪記念資料館より佐藤春夫講演会の開催日について六月二日に変更できないかとの打診があった。

四月二二日(月)『源氏物語切集』(手鑑一帖)の起案が承認され、購入手続きに入った。

・新宮市立佐藤春夫記念館への伺書・招聘理由書(四月一日提出)が承認された。

四月二三日(火)四月一日付で以下の辞令がおりた(人事第2024-11号)。

・専任研究員として日本語コミュニケーション学科教授高瀬真理子氏が新任。

・兼務研究員として舟見一哉(国文学科准教授)・織田涼子(美学美術史学科准教授)・大道公秀(食生活科学科准教授)が再任。

・客員研究員として、江南和幸・加藤靖子・久下裕利・河野龍也の各氏が再任。

・兼務研究員ならびに客員研究員の任期は二〇二四年四月一日から二〇二六年三月三十一日とする。

・装束班(佐藤所長、高倉・大井各客員研究員、永井非常勤講師)が勉強出版社を招き、出版にむけて打合せた。

・手鑑研究室（舟見兼務研究員・別府節子客員研究員・上野研究員）が研究会を開催した。

・高瀬専任研究員の机・椅子・PC等が文芸資料に納品された。

四月三〇日（月）展覧会で借用予定の学外資料の搬出入料や、ハイブリッド形式による講演会の撮影配信料について、専門業者に見積もりを依頼した。

五月一日（水）研究推進室の高橋渉担当部長より研究所HPの活性化について打診があった。

・展覧会・講演会について佐藤所長・上野専任研究員・河野客員研究員で協議。結果、借用資料の搬出入は自分たちで行うこと（用心のため資料持参時にはグリーン車利用）、講演会は対面のみによること、ポスター・チラシの作成送付を武蔵野書院に依頼すること、研究所予算では展覧会用消耗品を担当することなどを決定した。

五月二日（木）展覧会用消耗品を発注した。

五月八日（火）潮音堂より伝寂蓮筆源氏物語若紫切「とのたま」・伝世尊寺行能筆源氏物語総角切「と、むつき」・伝後伏見院筆源氏物語夕顔切「もてしつめて」（いずれも未装丁）計三葉を購入した。

五月九日（木）谷村玲子客員研究員の要請により、英国における文献調査に際しての身分証明書とすべく、客員研究員証明書（所長印）を作成し送信した。

・兼務研究員に第一回運営会議のリマインダーを送信した。

五月一二日（土）一三日（日）大原兼務研究員と河野客員研究員が新宮市立佐藤春夫記念館に出張、展覧会で展示予定の資料を借用し、貴重書庫に収めた。

五月一三日（月）第一回運営会議を下記の要領にて開催した。

開催方法：対面とZOOM併用によるハイブリッド形式
開催時間：一〇時～一一時一〇分

対面の開催場所：渋谷キャンパス17階会議室1

議題

【審議事項】

1 二〇二三年度事業報告案

2 二〇二三年度決算案

3 二〇二四年度事業計画案

4 二〇二四年度予算案

5 「文芸資料研究所『年報』『別冊年報』の編集及び投稿に関する要領」改訂案

6 その他

【協議事項】

1 二〇二六年度以降の専任研究員枠取りについて

【報告事項】

1 二〇二四年度研究スタッフ及び所属する研究班

案

2 二〇二四年度臨時職員(アルバイト生)人事案

3 その他

審議の結果、1～3の審議事項は承認された。4
「二〇二四年度予算案」は資料に誤記があったため、ガ
ルーンに修正案を掲示(本日(一六日(一八時))しての再
審議となった。5については基本方針のみを審議し、
具体的な文言については改めて審議し直すことと了承
された。

協議事項では、枠取りについて難波学長からの了承
は得たものの、任期付きか否かは不明であるとの所長
報告があった。多岐にわたる研究所運営の継続性や事
業の一貫性を確保するためにも専任研究員が望ましい
という声があったが、以降の折衝は所長に一任するこ
とで決着した。報告事項はすべて承認された。

・「二〇二四年度予算案」について修正案をガルーンに
提示した。

・武蔵野書院より届いた佐藤春夫関連展覧会・講演会

のポスター・チラシを学内に掲示・分配した。

五月一日(火) インフォマージュ社より高倉家資料デジ
タル撮影のデータ(DVD)が納品された。

・展覧会・講演会用ポスター・チラシの郵送準備を行っ
た。

・大原兼務研究員・河野客員研究員の出張報告書・招
聘報告書などを提出した。

五月一日(水) 河野客員研究員が展示資料を追加搬入し
た。

・香雪記念館に展示資料や作成したパネル・キャプショ
ン等を搬入、一二日まで展示準備を行った。

・装束班(佐藤所長、高倉・大井・横井孝各客員研究員・
永井非常勤講師)で打合せを行った。

五月一日(木) 日本製紙クレシア(飯嶋夕子・甲斐秀彦・
大岡泰伸各氏)がVHX8000による紙分析の見学に来所、

澤山茂客員研究員が応対した。

・運営会議(ガルーン)での「今年度予算案」に関する再審
議)について、新たにスレッドを立て、審議期間を

二〇日一八時まで延长了。

五月二〇日(月) 第二回運営会議の「今年度予算案」に関す
る再審議が承認された。これを受けて第一回運営会議
の議事録を兼務研究員に配信した。

五月二二日(水)東洋文庫の徐小潔研究員がVHX8000による資料観察のため来所。和紙調査班(澤山・日比谷孟俊各客員研究員、上野研究員)と情報交換をした。

五月二三日(木)～六月二一日(金) 展覧会「没後六〇年 佐藤春夫展―智恵と友情と恋と―」を以下の要領にて開催し、佐藤春夫を中心とした書簡など約60点を展示した。

【主催】文芸資料研究所／共催…公益財団法人佐藤春夫記念館／広報協力…武蔵野書院

【開催場所】実践女子大学香雪記念資料館

【開催時間】一〇時三〇分～一七時

・舟見兼務研究員が文芸資料にて書誌調査を行った。

五月二八日(火)手鑑研究班(舟見兼務研究員・別府客員研究員・上野専任研究員)が研究会を開催した。

五月二九日(水) 文芸資料研究所HPのスタッフ欄を更新した。

五月三〇日(木) 佐藤春夫関連資料の調査について原田直輝和歌山県博物館学芸員が来所、河野客員研究員が対応した。

六月八日(土) 佐藤春夫展覧会に合わせて文芸資料研究所主催の講演会を以下の要領にて開催した。

【開催場所】実践女子大学渋谷キャンパス四〇三教室

【開催時間】一四時～一五時四五分(開場一三時三〇分、講演後講師による展覧会ギャラリー・トークあり)

【講演タイトルと講師】

・春夫と千代 事件と事実の間…河野鉄也(東京大学准教授・文芸資料研究所客員研究員)

・春夫作品のなかの家族像…大原祐治(本学教授・文芸資料研究所兼務研究員)

・近代翻訳文化と佐藤春夫…ブルナ・ルカーシユ(本学教授・文芸資料研究所兼務研究員)

【司会】高瀬真理子(文芸資料研究所専任研究員)

六月一三日(木) 事業提携をしている台東区立一葉記念館より鈴木裕人館長と石井広士学芸員が来所、今年度の事業提携について佐藤館長・上野研究員と打ち合わせした。

・装束班(高倉・大井両客員研究員、永井非常勤講師)が高倉家資料の調査を行った。

六月二四日(月)展覧会の撤収作業を行った。

・河野客員研究員が自身の搬入した展示資料を搬出した。

・装束班（高倉・大井各客員研究員、永井非常勤講師、衣紋道高倉流村田恵美子氏）が高倉家資料の調査を行った。

六月二十五日（火）手鑑研究班（舟見兼務研究員・別府客員研究員・上野専任研究員）が研究会を開催した。

六月二十九日（土）三〇日（日）佐藤所長と河野客員研究員が新宮市立佐藤春夫記念館に出張し、同館より借用していた資料を返還した。また熊野速玉大社上野顕宮司に面会、御神宝類の写真的使用について協議した。

七月一日（月）玄海楼より伝寂蓮筆後撰集切「あきくらし」一軸を購入した。

七月四日（木）新宮市との資料委託契約について、佐藤所長、上野・高瀬両専任研究員、山内・大原・ブルナ各兼務研究員の六名で打ち合わせた。

・佐藤所長・河野客員研究員の出張報告書・招聘報告書他の書類を申請した。

七月八日（月）デジタル版広報に二〇二四年一二月から二〇二五年七月までの研究所開催行事（三件）について報告した。

七月一七日（水）佐藤春夫展覧会の反省会を兼ねて、河野客員研究員より今後の展覧会開催にむけてのレク

チャーがあり、佐藤所長、上野・高瀬各専任研究員、大原・舟見各兼務研究員らが参加した。

七月二十二日（月）源氏物語の装束再現について、佐藤所長・横井孝客員研究員がテレビ局の取材をうけ、録画撮りをした。

七月二十三日（火）舟見兼務研究員と上野専任研究員が、日野キャンパス図書館にて今秋開催展覧会に出品する古典籍の下見を行った。

七月二十四日（水）日比谷客員研究員が膠研究会を主催、西田典由・大和あすか（共に東京文化財研究所）・徐小潔（東洋文庫）・松原哲子（国文学研究資料館）・澤山客員研究員・上野専任研究員らが参加した。

七月二十九日（月）上野研究員が日野キャンパス図書館にて、高精度デジタル顕微鏡による古典籍の紙質調査を行った。

七月三〇日（火）舟見兼務研究員が文芸資料にて古典籍の調査を行った。

七月三十一日（水）栗原敦（本学名誉教授・文芸資料研究所客員研究員）が文芸資料研究所にて、宮沢賢治にするNHK大阪放送局矢崎伸治氏らのインタビュー・録画撮りを行い、高瀬専任研究員が担当した。

八月二日(月) 〓二〇日(火)夏期一斉休暇

八月一七日(土)二四日(土)三一日(土)事業提携事業の一環として、上野専任研究員が台東区立一葉記念館にて「くずし字でよむ源氏物語―賢木巻―」を三回にわたって担当した。

八月二日(水)佐藤春夫関連資料(太宰治書簡)画像の掲載について、正進社に許諾書を郵送した。

八月二日(木)佐藤春夫記念館からの依頼により、今回の展覧会で使用した大型パネル22枚を梱包し郵送した。

八月二七日(火)舟見兼務研究員と上野専任研究員が展覧会出品作品の最終確認、および古典籍移送に際する詳細について打ち合わせた。

八月二九日(木)舟見兼務研究員が日野キャンパス図書館にて展示資料の梱包を行った。

・研究所刊行物の噂を耳にした一般の方より、樋口一葉の親友だった伊東夏子に関する墓所の照会があった。上野研究員が応対し関係者二名に連絡をとったが分ならず、不明と報告、併せて当該刊行物を寄贈した。

八月三〇日(金)日野キャンパスからの重要文化財他の展示資料の搬出を業者に依頼、渋谷キャンパスにて舟見兼務研究員と上野専任研究員が受け取り、貴重書庫に

保管した。

九月二日(月) 〓六日(金)香雪記念館に展示資料その他を搬入、展示準備を行った。

九月九日(月) 〓二九日(日)展覧会「実践女子大学所蔵源氏物語・和歌コレクション展―文庫(ふみくら)をひらく―」を左記の要領にて開催し、約41点の古典籍を展示した。

【主催】実践女子大学国文学科／共催：大学図書館・芸資料研究所／協力：香雪記念資料館

【開催時間】一〇時三〇分―一七時

【開催場所】香雪記念資料館

九月一日(水)大和あすか氏(東京文化財研究所)が来所、蛍光X線による資料調査について日比谷客員研究員と打ち合わせた。

九月一二日(木)岩坪健(同志社大学教授・宮廷文化研究所所長)が展覧会および資料閲覧のため来所、上野専任研究員が応対した。

九月一八日(水)パーソナルAVCテクノロジー社の南堀知夏氏ほか二名が来所、澤山客員研究員・上野専任研究員・佐藤雅史研究推進室課長補佐らと開発委託の件にて打合せした。

九月二〇日(金)佐藤春夫関連資料(太宰治書簡)の画像掲載について、時事通信フォト社に許諾書を郵送した。

九月二八日(土)二九日(日)和歌文学会秋季大会の開催に協力した。

・展覧会が終了した。

九月三〇日(月)展覧会終了により、香雪記念資料館より展覧品等を撤去。日野キャンパスに戻す古典籍の梱包を行った。

・絵入本ワークショップ韓国大会での発表者を募集すべく、共同通信社等に告知を依頼した。

一〇月一日(火)装束採寸のため、衣紋道高倉流の村田恵美子氏が来所、大井・高倉両客員研究員、永井非常勤講師らと作業を実施した。

一〇月三日(木)・ヤフーオークションにて、源氏物語宿木巻古筆切(両面書き一葉)「ひと申」「をしければ」・伝冷泉為相筆源氏物語夕顔巻古筆切「うには」・伝藤原為家筆源氏物語若菜上巻古筆切「きまで」(いずれも未装丁)計三葉を購入した。

一〇月五日(土)佐藤所長・河野兼務研究員の和歌山県立美術館出張について出張伺書・招聘理由書を提出した。

一〇月九日(水)日野キャンパスに戻す古典籍を運送業者

に渡した後、上野専任研究員が日野キャンパスにて受け取り、開梱、図書館に返却した。

一〇月一五日(火)文芸資料の情報機器の総取替えが実施された。

一〇月一六日(水)情報機器の更新により新たに必要となった外付け備品を発注した。

一〇月二一日(月)舟見兼務研究員の大阪玄海楼への出張申請書を提出した。

一〇月二四日(木)VHX8000による紙質調査および打ち合わせのため、東洋文庫徐小潔研究員が来所、日比谷・澤山両客員研究員が応対した。

一〇月二六日(土)舟見兼務研究員が大阪に出張、古典籍

の購入について玄海楼書店と打合せた。
一〇月二九日(火)一二月七日(木)第二回運営会議を左記の要領にて開催した。

【開催形式】ガールーンによる持ち回り方式

【開催期間】一〇月二九日(火)一十一月六日(水)
【議題】「文芸資料研究所『年報』及び『別冊年報』の編集及び投稿に関する要領」の訂正について

一〇月三〇日(水)舟見兼務研究員の出張報告書その他を提出した。

一〇月三一日(木)装束班(大井・横井各客員研究員)が高

倉家資料の書誌調査を行った。

・ヤフーオークションにて、伝冷泉為相筆源氏物語若紫巻古筆切「さるやうありて」(未装丁一葉)を購入した。

十一月一日(金) 二日(土) 江戸の出版、絵及紙の料紙などについて、佐藤所長・澤山客員研究員に之を大阪放送局が取材、録画撮りを行った。

十一月六日(水) 第二回運営会議(持ち回り)が終了し改訂案が承認されたため、研究推進室に報告、併せて研究推進機構会議に提出する資料案を作成した。

・兼務研究員・客員研究員に「年報」44号への寄稿案内を配信した。

・佐藤春夫資料の閲覧ならびに打ち合わせのため、田端文士村記念館学芸員田村氏が来所、高瀬専任研究員・河野客員研究員が応対した。

十一月七日(木) 八日(金) 江戸の出版文化について、佐藤所長にテレビ局が取材、録画撮りを行った。

十一月十七日(日) ～ 一九日(火) 佐藤所長・河野兼務研究員が和歌山県立美術館に出張し、佐藤春夫資料の取り扱いについて協議した。

十一月十八日(月) 「年報」44号への投稿申請を締切った。

計一三件の申請があった。

十一月二〇日(水) 運営会議の審議を経て、研究推進機構会議で「文芸資料研究所『年報』及び『別冊年報』の編集及び投稿に関する要領」の訂正案が承認された。

十一月二十五日(月) 二〇二五年度の研究所予算額が提示され、予算案の作成要請があった。

・佐藤所長・河野兼務研究員の出張報告書・招聘報告書その他を提出した。

・(株)秀学社より申請のあった佐藤春夫関連資料の教科書掲載願について許諾書を送った。

十一月二十六日(火) 手鑑研究班(舟見兼務研究員・別府客員研究員・上野専任研究員)が研究会を開催した。

十二月四日(水) 二〇二五年度研究所予算案について、佐藤所長の校閲が入った。また上野研究員との打ち合わせの結果、次年度の情報機器・設備備品の申請は見送ることにした。

・次年度予算と行事について、佐藤所長、上野・高瀬両専任研究員、田中靖彦・舟見・山内各兼務研究員が打ち合わせた。

十二月五日(木) 研究推進室に二〇二五年度予算案を提出した。

二月九日(月)佐藤所長・山内博之・ブルナ・ルカーシュ
両兼務研究員の韓国出張伺書を提出した。

二月一八日(水) 〓一月一〇日(金)年報編集会議(査読)
を左記の要領で開催した。

【開催方式】ガロンによる持ち回り方式

【開催期間】二月一八日(水) 〓一月一〇日(金)

【審議内容】「年報」寄稿論文の査読・寄稿資格のチェック・依頼論文の決定など

二月一八日(水) 〓二四日(火)絵入本学会事務局として
第一四回絵入本ワークショップに協力するため、佐藤
所長が韓国に出張した。なおワークショップで予定し
ていたマルケ・クリフトフ氏の講演が、氏のインフル
エンザ罹患のため中心となり、佐藤所長が急遽代役を
務めた。

二月二〇日(金) 〓二三日(月)絵入本学会事務局として
第一四回絵入本ワークショップに協力するために山内
兼務研究員が、また研究発表のためブルナ兼務研究員
が、それぞれ韓国に出張した。

二月二一日(土) 二二日(日) 第一四回絵入本ワーク
ショップが下記の要領にて開催された。(二一日・研究
発表・講演会/二二日・文化体験)

【主催】絵入本学会・蔚山大学日本語日本文学科

【後援】蔚山大学・日本国際交流基金ソウル文化センター
【協賛】国文学研究資料館・東洋文庫・美術フォーラム

21刊行会

【開催場所】韓国蔚山大学(発表一四号館一〇五教室・

二一八教室/文化体験二〇号館三二七教室)

二月二三日(月) 二〇二五年度高額研究設備整備費とし
て「田中登氏所蔵古筆切コレクション(一括)」を申請し
た。

・玄海楼より古典籍七点を購入する件について研究推
進室に起案を提出した。

二月二六日(木) 〓二月三〇日(月) 第四回運営会議を
左記の要領にて開催した。

【開催方法】ガロンによる持ち回り方式

【開催期間】二月二七日(金) 〓三一日(火)

【議題】次年度所長人事について

審議の結果、令和七年度所長として上野英子専任研究
員の就任が承認された。

二月二七日(金) 第五回運営会議を下記の要領にて開催
した。

【開催方式】ガロンによる持ち回り形式

【開催期間】二月二七日(金) 〓三一日(火)

【議題】令和七年度募集予定の専任研究員枠取りのため

「文芸資料研究所人事計画案」を配信し、この案文をたたき台に意見を伺うことを目的としたが、固有名詞の修正のみで特に意見は出なかった。

・「夜の寢覚」をはじめとする古筆切について、テレビ局が横井客員研究員を取材、録画撮りを行った。

〔令和七年(二〇二五)〕

一月四日(土)二〇二七年度からの専任研究員枠取りのため、佐藤所長が研究推進機構に「後任人事計画案」を提出した。

一月六日(月)「古筆切七点」に関する起案を提出した。

一月一〇日(金)編集会議が終了、寄稿論文日本の掲載が決定し、内4本を依頼論文扱いとすることが承認された。

一月一五日(水)「年報」44号のデータをインフォテック社に入稿し見積を依頼した。また英文タイトル・英文要旨の校閲をエゴナ社に依頼した。

・佐藤所長及び山内・ブルナ兼務研究員の韓国出張報告書その他を提出した。

一月一六日(水)運営会議の審議を経た二〇二五年度所長人事案が、研究推進機構会議にて承認された。

・佐藤所長、山内博之・ブルナ・ルカーシユ両兼務研

究員ら三名の韓国出張について、出張報告書他の書類を研究推進に提出した。

・一月六日付起案が承認されたため、玄海楼より、伝寂蓮筆右衛門切(古今集「心さしふかく」)一軸・伝藤原定家筆紹巴切(後撰集「さをしかの」)一軸・伝兼好筆越前切(伊勢物語「そかりけり」)一軸・伝藤原定家筆五首切(「たつたやま」以下五首)一軸・伝寂恵筆古今集切「つれつれの」未装丁一葉・伝清水谷公勝筆続古今集切「さくらし」未装丁一葉を購入した。

一月二二日(水)二〇二四年度高額研究設備整備費として承認された「梶井基次郎日記16帖」を八木書店が納品。佐藤所長・ブルナ兼務研究員・上野専任研究員・佐藤雅史研究推進課課長補佐が同席し、確認した。

一月二七日(月)来年度開催予定の「坂口安吾展」にむけて、大原兼務研究員・上野専任研究員・田中三恵子生涯学習センター部長が打ち合わせた。

一月三〇日(木)ZIN大阪放送局宮本尊司氏が来訪、江戸の出版文化等について佐藤所長にインタビューを行った。

二月三日(月)第六回運営会議を以下の要領にて開催した。

【開催方式】ガルーンによる持ち回り形式

【開催期間】二月三日(月) ～二月一〇日(月)

【議題】令和六年度人事について(兼務研究員・客員研究員)

二月六日(木) 七日(金) 本学に会計検査院の調査が入り、研究所は平成三二年度私立大学等研究設備整備費等補助金にて購入した伝冷泉為相筆源氏物語須磨巻(一冊)の使用・研究状況について報告した。

二月一〇日(月) 第六回運営会議が終了し、審議の結果、以下の事柄が承認された。兼務研究員の新任として、池田三枝子国文学科教授が、再任として島高行英文学科教授・大原祐治国文学科教授・田中靖彦国文学科教授・山内博之国文学科教授・ブルナ・ルカーシユ国文学科教授・中村彰男食生活学科教授が承認された。

また客員研究員の新任として、神谷早苗元旧東京都近代文学博物館学芸員が、再任として越後敬子本学非常勤講師以下二十四名が承認された(詳細は後掲【令和六年度スタッフ一覧】を参照のこと)。兼務・客員両研究員とも、任期は二〇二五年四月一日から二〇二七年三月三十一日、再任可とする。また各メンバーが所属する研究班についても確認された。

二月一〇日(月) 先に申請した「二〇二五年度高額研究設備

整備費」について、研究推進室からのヒアリングがあり、佐藤所長と上野研究員が対応した。

二月一三日(木) 第二回全学教授会にて「大学付置研究所の任期を定めた研究員・学芸員の任用について」が審議され、承認された。

二月一九日(水) 第三八回常任理事会にて「大学附置研究所の任期を定めた研究員の任用」が承認された。

三月第七回運営会議にて、研究所推薦による機構研究員の任期延長その他の審議(予定)。

三月一九日(水) 運営会議で審議された令和六年度研究所人事案が、研究推進機構会議で承認(予定)。

三月 総務に令和六年度臨時職員の採用申請書を提出(予定)。

三月二〇日(木) 二一日(金) 渋谷キャンパス・日野キャンパスにて卒業式(予定)

三月三〇日(日) インフォテック社が「年報」44号のデータ納品(予定)。

【令和六年度スタッフ一覧】

11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
兼務研究員											役職
舟見一哉	中村彰男	田中靖彦	島 高行	織田涼子	大道公秀	大原祐治	大橋直義	高瀬真理子	上野英子	佐藤 悟	氏名
(准教授)	(教授)	(教授)	(教授)	学科学科(准教授)	食生活科学科(准教授)	国文学科(教授)	国文学科(教授)	(教授)	(教授)	国文学科(教授)	所属
中古中世諸文献資料の文献学的研究	栄養生化学	南宋における正統論の展開に関する研究	近代小説における遊戯的精神の研究	顔料の研究	蛍光エックス線装置による資料研究	日本近代文学	説話・仏教文学・中世文学・文献学・寺院資料書誌学	日本近代文学	①鎌倉・室町時代における源氏物語本文を中心とした享受史研究 ②源氏古筆切および極め札の料紙調査	近世諸文献資料の文献学的研究	専門分野
② ③	③	③	③	③	③	④	③	④	① ③	①～④ 総括	研究 担当
再任	継続	継続	継続	再任	再任	継続	継続	新任		再任	区分
2024年4月1日～ 2026年3月31日	2023年4月1日～ 2025年3月31日	2023年4月1日～ 2025年3月31日	2023年4月1日～ 2025年3月31日	2024年4月1日～ 2026年3月31日	2024年4月1日～ 2026年3月31日	2023年4月1日～ 2025年3月31日	2023年4月1日～ 2025年3月31日			2024年4月1日～ 2025年3月31日(定年)	任期

注1 研究班は次の四つに分かれ、兼務も可とする。

①源氏物語関連 ②有職故実関連 ③新コディコロジー関連

④佐藤春夫を中心とした近代文学関連

注2 所属の役職は令和七年一月現在のものである。

22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12
客員研究員									兼務研究員	
牛腸ヒロミ	河野龍也	栗原 敦	久下裕利	加藤靖子	影山輝國	大井三代子	江南和幸	越後敬子	山内博之	ブルナ・ル カーシユ
本学 (名誉教授)	東京大学 (准教授)	本学 (名誉教授)	昭和女子大学 (名誉教授)	東京大学大学院教育学研究科 (特任研究員)	本学 (名誉教授)	元本学 (非常勤講師)	龍谷大学 (名誉教授)	本学 (非常勤講師)	国文学科 (教授)	国文学科 (教授)
ら	奈良・平安時代の衣服の染色方法の再現と定量化―色彩と浅色堅牢度測定か	佐藤春夫旧蔵資料の調査	『新校本宮沢賢治全集・年譜』の再構築	①源氏物語の成立に関する研究②山本春正『絵入源氏物語』に関する研究	近代日本の女子教育	『論語義疏』の研究	①高倉家文書の状態調査及び仮目録作成②明治女子教育の研究	幕末・明治期の俳書出版の調査による俳文学史の研究	国語学	日本近代文学
② ③	④	④	①	④	③	②	③	③ ④	④	④
継続	再任	継続	再任	再任	継続	継続	再任	継続	継続	継続
2023年4月1日～ 2025年3月31日	2024年4月1日～ 2026年3月31日	2023年4月1日～ 2025年3月31日	2024年4月1日～ 2026年3月31日	2024年4月1日～ 2026年3月31日	2023年4月1日～ 2025年3月31日	2023年4月1日～ 2025年3月31日	2024年4月1日～ 2026年3月31日	2023年4月1日～ 2025年3月31日	2023年4月1日～ 2025年3月31日	2023年4月1日～ 2025年3月31日

31	30	29	28	27	26	25	24	23
客員研究員								
子林(近藤)直	辻本雄一	張名揚	谷村玲子	高倉永佳	白戸満喜子	三條西堯水	澤山茂	齊藤鉄也
東京大学工学部日立東大ラボ	公益財団法人佐藤春夫記念館(館長)	本学(非常勤講師)	元本学(非常勤講師)	高倉家衣紋道(非常勤講師)	本学(非常勤講師)	香道御家流宗家・本学(非常勤講師)	東京農業大学(名誉教授)	淑徳大学(教授)
樋口一葉の作品について	佐藤春夫を中心とした近代文学	道教から聖教へー中国密教における喫茶文化の形成に関する研究ー	①18世紀江戸における姫路藩酒井忠以(宗雅)の文芸活動②江戸城表坊主・数寄屋坊主の各藩との関わり(特に何代にもわたる「家頼」)に関して	高倉家文書の研究	古典作品および収集済み断簡の料紙観察	香道	①実践女子大学所蔵源氏物語写本の用紙分析②源氏物語写本の筆跡類似性③実践女子大学所蔵及び入手可能な手漉き和紙見本帳(紙)のデジタルマイクロスコープによる料紙性状観察	①Zoteroを用いた源氏物語写本の調査②仮名字母使用率による源氏物語写本の調査
④	④	②	① ②	②	③	②	③	①
継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続
2023年4月1日～ 2025年3月31日	2023年4月1日～ 2025年3月31日	2023年4月1日～ 2025年3月31日	2023年4月1日～ 2025年3月31日	2023年4月1日～ 2025年3月31日	2023年4月1日～ 2025年3月31日	2023年4月1日～ 2025年3月31日	2023年4月1日～ 2025年3月31日	2023年4月1日～ 2025年3月31日

41	40	39	38	37	36	35	34	33	32
客員研究員									
横井 孝	山口みなみ	八木正自	森 奈良好	マルケ・ケ リストフ	松本 大	松原哲子	別府節子	日比谷孟俊	針本正行
本学 (名誉教授)	元本学 (非常勤講師)	有限会社安土 堂書店(代表)	公益財団法人 佐藤春夫記念 館(理事)	フランス国立 東洋言語文化 大学(教授)	関西大学 (教授)	国文学研究資料 館(特任准教授)	元出光美術館 (学芸員)	元慶應義塾大 学 (教授)	國學院大學 (学長)
①源氏物語本文と古筆切の研究②新しい文献学(コテイコロジ)の探求	向田邦子研究―主に本文校異	近世諸文献資料の文献学的研究	佐藤春夫を中心とした近代文学	①フランスの江戸時代の和本・浮世絵コレクションの調査・研究②江戸時代の天津絵研究③広重の団扇絵研究	源氏物語享受史における古筆切資料の位置づけ及び試行的研究活用に関する基礎的研究	近世諸文献資料の文献学的研究	諸家及び団体所蔵の古筆資料(卷子・冊子・切・掛物・手鑑等)の発掘調査と研究、及び当該資料中の源氏物語関連古筆資料の研究	戸の出版物制作における科学的視点からの研究③源氏物語およびその他の写本成立時期に関する科学的視点からの研究④源氏物語に関する衣装の繊維および着色剤に関する研究	平安文学研究
① ② ③	④	② ③	④	③	①	③	② ③	③	①
継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続
2023年4月1日～ 2025年3月31日	2023年4月1日～ 2025年3月31日	2023年4月1日～ 2025年3月31日	2023年4月1日～ 2025年3月31日	2023年4月1日～ 2025年3月31日	2023年4月1日～ 2025年3月31日	2023年4月1日～ 2025年3月31日	2023年4月1日～ 2025年3月31日	2023年4月1日～ 2025年3月31日	2023年4月1日～ 2025年3月31日

臨時職員

- ・ 浅見瑠花(国文学科4年)
- ・ 小松朋加(同)
- ・ 関谷 遙(同)
- ・ 朝倉奈々(国文学科3年)
- ・ 飯村瑠生(同)
- ・ 三浦 遙(同)
- ・ 加藤優風(国文学科2年)
- ・ 齊藤楓華(同)
- ・ 齊藤実悠(同)
- ・ 原崎 翼(同)